

年末年始の各業務日程

【役場・町図書館業務】

◆**役場一般業務**＝12月28日(土)～1月5日(日)まで休みます。

◆**町図書館業務**＝12月29日(日)～1月3日(金)まで休みます。

【日野病院】

年末年始は12月28日(土)～1月5日(日)まで休診します。

この期間中の診察は救急患者のみとなり、緊急性のない軽症の患者の診察などは行いません。

問合せ 日野病院(電話 72-0351)

【可燃ごみの収集】

年末年始は12月28日(土)～1月5日(日)まで休みます。なお、12月30日(月)と1月6日(月)に可燃ごみ全町一斉収集をします。

問合せ 役場建設水道課(電話 72-0350)

【クリーンセンターくぬぎの森へのごみの持ち込み】

可燃ごみのみ、12月29日(土)午前8時30分から正午まで持ち込

み可能です。センターは、12月29日(土)午後～1月5日(日)まで休みます。

問合せ クリーンセンターくぬぎの森(電話 74-0333)

【リサイクルプラザ(伯耆町)】

12月28日(土)～1月5日(日)まで休みます。

問合せ リサイクルプラザ(電話 0859-68-4071)

【し尿汲み取り】

年内は12月27日(金)の申込みまで受け付けます。12月28日(土)から休業し、1月6日(月)から受け付けを行います。

問合せ いづはら(電話 0859-24-0566)

【JR西日本(伯備線)】

12月31日(火)～1月5日(日)までは曜日にかかわらず、『土休日ダイヤ』で運行します。平日ダイヤと異なりますので、ご注意ください。

問合せ JRお客様センター(電話

0570-00-2486)

【町営バス】

1月1日(水)から1月4日(土)まで運休します。1月6日(月)から通常どおり運行します。

問合せ 役場企画政策課(電話 72-0332)

【日ノ丸バス(米子線)】

① 12月31日(火) 最終便

《日野病院行(米子駅発)》

▶ 18:00 (19:03 日野病院着)

《米子駅行(日野病院発)》

▶ 16:30 (17:33 米子駅着)

② 1月1日(水)～3日(金)は、土日・祝日ダイヤで運行します。

《日野病院行(米子駅発)》

▶ 11:56 (12:55 日野病院着)

▶ 16:36 (17:35 日野病院着)

《米子駅行(日野病院発)》

▶ 9:11 (10:10 米子駅着)

▶ 14:01 (15:00 米子駅着)

問合せ 日ノ丸自動車株式会社米子支店(電話 0859-32-2123)

雪おろし などでお困りのときは…

町から協力要請をしている業者の一覧です。料金は有償となります。雪おろしなどを依頼される場合は、それぞれの相談窓口または業者と相談のうえ、依頼してください。

○日野町建設業協会 相談窓口：稲田組(電話72-1245)

(加盟業者) ・中村建設 72-0016 ・高橋建設 72-0128
・稲田組 72-1245 ・原明建設 74-0020 ・佐伯建設 72-0070

○日野町建築協会 相談窓口：ナギラ建築(電話72-1329)、池座建築(電話090-7507-3956)

○鳥取日野森林組合(電話72-0066) ※倒木処理など(料金は状況による)

○上記以外の業者 ・遠藤工務店 72-0285 ・西村建築事務所 090-6840-8954
・宮脇鉄工所 72-1098 ・竜建 72-1373

【作業料金】

※上記の料金は、目安の金額です。状況により変わりますので、業者とご相談ください。

作業内容または使用機器	単位	1時間あたりの費用
人力での除雪(雪かき)	1人	2,500円
人力での除雪(屋根からの雪下ろし)	1人	3,000円
ミニパワーショベルなどの操縦者派遣	1人	2,500円
ミニパワーショベル(除雪作業)	1台	2,000円
台車によるミニパワーショベルなどの移送		実費
2トンドンプ(雪の回収)	1台	1,500円
4トンドンプ(雪の回収)	1台	2,000円

【問合せ先】 役場総務課(電話 72-0331)

前向きに生きよう
人生、明るく、楽しく



人権啓発講演会及び 第44回日野町人権・同和教育研究集会

【人権啓発講演会】

演題：「知的障害者の長女と、いつも明るく」

講師：辻 イト子さん(タレント)

theme 1 “人権尊重のまちづくりをしよう” 人権啓発講演会

「大阪のおばちゃん」が
教える自分らしい生き方

11月14日、町文化セン
ターで人権啓発講演会及び
第44回日野町人権・同和教
育研究集会が開かれまし
た。

講演会では、タレントの
辻イト子さんが、「知的障
害者の長女と、いつも明る
く」と題し、講演を行いま
した。

辻さんは大阪府岸和田市
生まれ。みかん農家の主婦
としてごく普通の人生を送
るものと思っていた矢先、
知的障害がある長女の養護
学校入学や実父の病気と介
護、タレント養成事務所へ
の所属など、辻さんに次々
と人生の転機が訪れます。
講演では、「大阪のおばちゃ
ん」としてテレビなどでも
活躍する辻さんのパワフル
な一面も見せながら、自分
らしい生き方について語り
かけました。

知的障害があっても明るく
生きる長女の姿が私を変えた
みかん農家の一人娘とし

て、銀行員の夫を婿に迎え、
2人の子どもを育てていた
辻さん。長女が3歳の時、
「保育所でけいれんを起こ
して救急車で病院に運ばれ
た」と連絡が入ります。精
密検査の結果、頭の中に小
さな傷があることが分か
ります。

医師からは、「この傷が
原因でてんかん性のけいれ
んを起こすのですが、手術
で除去することは不可能で
す」「娘さんは一生この傷
を抱えたまま成長しなくて
はいけません。成長するに
つれ、ほかの子と比べ開き
もでてきます」と言われ、
辻さんは自分を責めること
しかできなかったと振り返
ります。

そんな辻さんを救ったの
は知的障害があっても明る
く生きる長女の姿でした。
特別学級や養護学校に元氣
に通い、卒業後は地元のカ
リーニング工場に就職。「大
勢の人とかかわりたい」と、
職場の人と明るく接し笑顔
をみせる長女に、辻さんは